

行事で育つ

8月25日に始業式があり、2学期も2週間になろうとしています。夏休みの初日、7月22日に予定していた「かがやきの丘祭り」は秋田県を襲った集中豪雨により、やむを得ず中止にしました。今回は「保護者有志によるヤートセ」はじめ、吹奏楽団、竿灯、プロの男性デュオ「ケース&マサ」などなど、新規の出演希望者が多数いて、それぞれ準備を進めていただけに、本当に本当に残念でした。

一方、翌日まで続いた豪雨により、秋田県内では田畑や住宅への浸水、道路や鉄道の冠水など多くの被害がありました。8月の大曲の全国花火大会前日にも同様の豪雨がありました。被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。

9月に入りました。これから11月までの期間は様々な行事～子供たちが活躍する機会がたくさんあります。障害者スポーツ大会、秋田県特別支援学校体育連盟（秋田県が全国に先駆けて平成14年度に組織した特別支援学校の全県組織）総合体育大会、修学旅行、地域での理解推進活動・奉仕活動、現場実習、学校祭、周年行事、公開研究会などです。

これらの行事を「児童生徒が校外に出て活動する行事」と「校内にお客様を迎えて活動する行事」と分けて捉えることもできます。以前はこのような行事は理解推進（社会一般に障害者のことを理解してもらおう）という意味合いが強かった気がします。しかし、校内外で行う行事の良い点は、行事を通じて児童生徒が確実に成長していくことです。

学校や家庭では、どうしても児童生徒が第一です。でも、世の中は自分の都合のいいようには動いてくれません。周りの人をお願いしたり、自分が周りの環境や人に合わせることも必要です。また、知らない人と接することで、児童生徒は言葉遣いや態度を意識したり、他の人の親切に感謝したり、他の人を思いやったりする貴重な経験ができます。

地域での活動や地域の方々との交流活動は、秋田県の特別支援学校の教育活動の特色でもあり、児童生徒の成長という大きな成果をあげています。

このページを通じて、きらり支援学校のこれからの行事を紹介していきます。

平成29年9月7日



9月2日（土）、第15回秋田県障害者スポーツ大会に本校生徒が選手として出場しました。競技「スラローム」に出場した選手の皆さんの素敵な笑顔です。